

9月16日（金） 第2回葛野小学校運営協議会 議事録

<学校より>

○児童支援専任の役割について

- 葛野小学校いじめ防止基本方針についての説明
- 学校としての「いじめ」定義
- 未然防止に向けて、子どものサポートづくりを学校として取り組んでいる。
 - いじめの早期発見、具体的取組（対応）、検証もあわせて行っていく
- いじめが起これにくい学校風土づくりが重要
（取組例）
 - ・挨拶運動 ・たてわり活動 ・人権意識を高める活動
 - ・Y-P アセスメントシートによる児童一人ひとりについての見取り
 - ・子ども同士の関係性 背景を通してサポートしていく
 - ・気持ちを切り替えられる力を育てる
 - ・「学校に来ると楽しいな」と子どもが感じられるような学校環境
- 今できる人間関係づくり→豊かな心になるきっかけづくり につながる

○総合的な学習の時間について

- 地域にある「人・もの・こと」に関わっていきながら学習を展開していく
 - ・地域とのかかわりがとても重要
 - ・地域への愛情をもち、学習の成果を発信していくことで、協調性、自主性が育てられる
- 総合的な学習の時間は、教科書がない教科→子どもたち自身が学習問題をつくっていく

<委員より>

○（参観して）子どもたちが生き生きと楽しそう

○iPadの導入がいろいろな授業で見られる→先生たちが工夫しているんだなと感じた

○総合的な学習の時間は、教科書がないということで、先生たちが大変そう

○2年前に参観した時と比べて変わってきている→コロナへの対応など

○保育園と小学校とのつながりが大切→少しずつ元通りになればと思う

○先生たちが生き生きしている→子どもの主体性を生かしている

○幼保小での連携を図り、子どもがスムーズに入学できるようにしていきたい

○保育園にとっても、地域とのかかわりがあると嬉しい

○（参観して）子どもの個性を生かしている→子どもの将来が見えてくるよう→子どもたちは幸せ

○学校・キッズ・保護者とのつながりを大切にしている→子どもが安心して過ごせている

○（ご自身の経験から）小中の交流は、とても大切→今でも賀詞交歓会などを通じて行っている

○先生や保護者が子どもを大切に育てている⇔こんなに子どもたちを大事にしているのかなとも思う

→子どもたちをたくましく育ててほしい

○失敗の経験の中で身に付けていくものがたくさんあるから、それを経験してたくましく育ててほしい

○地域としては、「ふるさとづくり」を理念に掲げ、大切にしている

→子どもたちにとってのふるさと →帰ってきて、ほっとするところがあるように

そんな地域をつくっていきたい

○学校現場は何が大変なのか、実際に先生たちに聞きたい